

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年2月21日

事業所名 発達支援センタークオラバンビーノ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえ 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	2	・特に親子グループは人数が多いのでテーブル配置を工夫している。	・生活の場と遊びの場の区別をつけられるようにしながら、危険のない環境設定と安心できる場所を心がけている。
	2	職員の配置数は適切である	6	0	課題に応じ、より丁寧な対応が行えるように職員数を増やすこともある。	・配置基準に基づいた職員配置を行っている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	1	・各自に合わせた見通しカードや写真を準備している。 ・プレイルームと職員室にモニターを設置し、緊急時の対応をしている。	・大きな建屋ではない為、個々での対応が望ましいと思う時、対応できる部屋があるとよいと思う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	1	・感染症の流行時期は毎日2回消毒している。 ・保育用品、活動用品が効率良く収納し取り出せるように品名シールを貼り、整理整頓している。	・トイレ後の着脱については、空調に調整を行い、寒さの軽減を心がけている。 ・トイレの手洗い場は高さがある為、踏み台を用意している。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	・人事考課制度によりPDCAサイクルによる人事考課を行い職員の意見を確認している。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	・保護者評価の収集・分析と結果の公表を行っている。また、日常的にも保護者の方と話をする機会を設けている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	・保護者の方へご協力を頂きながら取り組んでいる。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	0	・内部監査を実施しながら評価を頂き、質の向上・業務改善に努めている。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	・同法人内での研修に参加している。また職員研修を行っている。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0	・生活全般の情報を収集し、個別支援会議にて協議している。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	・アセスメント用紙の見直しを行い、定型発達のアセスメント用紙を活用している。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	1		・支援に必要な項目が表示されているが、計画にガイドラインの項目は表示されていない。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0	・個々人の特性に合わせた計画を立て、それに沿った活動が提供できているか 毎日ミーティングを行っている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	・リーダーが立案し、打ち合わせで助言補足している。	・担当者の発案の下、職員間で情報共有し適切な支援プログラムを進めている。新入職員が多く、内容やチーム全体での共有について、より充実が必要。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	1	・反省した事、気づいた事を次回に生かすようにしている。	・日々の反省をもとに遊びが展開できるような環境設定に十分配慮を行っている。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6	0	・子どもの状況に合わせて職員体制を整え対応できるようにしている。課題に対する必要な支援として計画に落とし込んでいる。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	6	0	・毎回打ち合わせを行い活動内容の共有をしている。	
	18	6	0	登園時の子どもの姿、活動参加の様子、支援内容の確認、今後の支援と課題について話し合いを行っている。	
	19	6	0	・活動のねらいに対しての評価、課題についての記録を毎回確認し、支援内容の評価を行っている。	
	20	6	0	・半期に一度、モニタリングと支援計画の評価を行い、保護者との面談の中で新たなニーズや支援内容の修正を行っている。	
関係機関や保護者との連携	21	6	0	・保護者や関係者が集まり会議が行われている。	
	22	6	0	・必要に応じ連携を取り合い、情報共有しながら支援を提供できるようにしている。	
	23	6	0	・医療的ケア児童の利用はない。	
	24	6	0		
	25	6	0	・入園時、支援計画の切り替え時には関係機関との情報共有を行っている。	
	26	6	0	・入学前に関係機関との情報共有を行うとともに、入学後は学校見学に参加するなどして、卒園児の状況把握とフォローアップに努めている。	
	27	5	1	・研修に参加し意見交換できる場を設けている。また、定期的に情報誌を頂いている。	・他事業所の見学、実習等の研修を行う。
	28	3	3	・近隣の保育所までも距離があることから、定期的な交流活動の機会は作れていない。年1回程度、行事として交流することがある程度	・法人内保育所等での交流を考えてみたい。
	29	6	0	・児童発達支援管理責任者が中心となり参加している。	
	30	6	0	・全員の保護者と話をする時間を持つように活動の様子をお知らせしている。また、いつでも話ができるよう登園時、降園時は目を配っている。	
	31	3	3	年3回の保護者懇談会などで、子育てについての意見交換を行っている。また、面談で悩みの共有を行いアドバイスをを行っているが、ペアレントトレーニングという視点では十分には行っていない。	・個別では伝えているが、今後職員の研修を行っていききたい。
	32	6	0	・施設重要事項を作成し、保護者の目に付くところに掲示している。	
	33	6	0		・個々に応じた支援内容で計画作成を行っているが、ガイドラインに沿った支援項目などの記載は課題である。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	・面談以外でも連絡帳、口頭での相談にも応じることができるようにしている。また、併設の相談支援事業所とも連携を密にしている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	0	・保護者会の役員を中心に月1回集まる場の提供。母親、父親の親睦会の開催。託児付きの勉強会等を行い、行事参加を促している。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	・法人の苦情解決制度に基づいて、迅速に対応を行っている。	・相談に対しての返答に時間を要する事があるため、相談の内容によっては期限を決めたり、管理者が面談するなどの対応を考えたい。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	・月1回、活動内容や行事予定を配布している。今後も通信の発行を行い子どもの様子や行事の結果などを掲示していく。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0	・個人記録等はキャビネットに保管し、保護者や児童等の目に付かないようにしている。保育室等でもみだりに個人情報が露出しないよう注意を払っている。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	・個別対応や関係機関の招集、家庭訪問など、臨機応変な対応で、落ち着いて話が出来る時間を設けている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	3	・勉強会への参加の呼びかけや行事についてはボランティア依頼を行っている。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	2	・定期的に情報誌の発行を行っている。緊急マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、活動内や職員間で適宜、実践・確認を行っているが、全保護者への周知には至っていない。	・保護者への周知と原発事故も含めた対応マニュアルを考えたい。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	1	・年2回訓練を実施している。1グループのみ行っている。	・救出を含めた必要な訓練を検討していきたい。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	0	・利用開始の際に保護者へ必ず確認を行っている。また年1回最新情報を提供して頂き、健康面、医療面について把握できるように努めている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	・新規利用時に保護者へ必ず確認を行っている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	・活動後に確認を行っている。事例が発生した場合は、対策についての検討を行うようにしている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	・法人全体での研修に参加し、虐待についての知識を持ち業務にあたっている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	0	・原則、拘束は行わないことを基本としているが、緊急的な措置については重要事項説明書に記載のうえ契約時に説明を行っている。	